

2012年山の子0B山行 木曾駒ヶ岳山行記録 (記：鈴木康之)

●2012年10月6～7日

●10月6日(土) 天気 晴れのち曇り(夜に一時小雨)

13:00 駒ヶ根キャンプセンター集合 車組はほぼ予定通り。藤橋さんと久保は電車で予定通り到着。綱島氏は高速バスを利用するも、高速での渋滞と事故のため大幅に遅れて到着。

バーベキューの準備や周辺の散策など楽しむ人も。

14:30頃 すでに飲み始める中、松尾が駒ヶ根駅に藤橋さんと久保氏を出迎え。

15:00 バーベキュー開始

キャンプ場は整備が行き届いており快適。われわれのテントは管理棟近くの2棟。三好さん一行+藤橋さんのバンガローも近く、設備は申し分なし。

牧野さんのコンロ+キャンプ場備え付けのバーベキュー炉を使い料理、飲み会開始。キャンプ場備え付け(?)の猫も一緒に大いに盛り上がる。



18:00 バーベキュー終了

明日の早朝出発に備え装備の片づけを行う。同時に河原でのキャンプファイヤーの準備も。河原は広く快適。

18:30 キャンプファイヤーへ

今回は牧野さん持参の歌集が大活躍。それぞれ自慢の歌を披露しつつ、最後は紺碧の空、「都の西北」を合唱してお開き。大量にあった差し入れの酒はほぼなくなり記憶をなくしつつある人も。



21:30 いったん消灯。一部の人は降り出した雨の中、タープの下でラーメンを食べながら11:00頃まで語らう。皆が寝静まった深夜、若手テントの中にキャンプ場の猫(おそらくオス)が侵入。雨と寒さに人の温もりが恋しくなったのか、紅二点の女性のシュラフに潜り込もうとしたと思われる。

●10月7日(日) 天気 小雨から曇り(時々晴れ間)

3:30 雨音を聞きながら起床(テント内ではかなりの雨とを感じるが外は小雨。少し安心)

4:35 出発。こまくさの湯駐車場に車を止めて菅の台バスセンター着。

5:12 予約していたバスがやや遅れて出発。しかし一般の人は車の駐車スペースがなく、さらに上のバス停より乗車を余儀なくされる。尚子の素晴らしい手配のおかげでスムーズに。

6:18 ロープウェイ出発。それほど待ち時間もなく千畳敷へ。残念ながら濃い霧でほとんど視界はなし。予定していたホテル千畳敷の喫茶店がいっぱい、皆で朝食はとれず、各自そばなど（三好さんは朝からビール）を食べる。その後、12:00の集合時間を決めて以下の3グループ（ほぼ年の順に）に分かれて登山届を提出し、山行開始。

1. 060 チーム（三好さん、川島さん、千勝さん）：中発隊

2. U60 チーム（耕平さん、鈴木さん、矢澤さん、長谷川さん、牧野さん、石川さん、綱島さん、藤橋さん）：先発隊

3. A50 チーム（久保、松尾、鈴木ヤス、澤田、ちこ、伊藤さん、尚子）：後発隊

（ここからの記録は鈴木ヤスのグループ／後発隊のもの）

7:10 濃いガスの中、千畳敷ロープウェイ駅出発。少し寒い。

7:50 急勾配の八丁坂。途中で小休止。澤田氏ややきつそう。

（その後の聞き取りで、このとき他の何人かも、かなりへたばっていたことが判明）
宝剣山荘までの間に中発隊に追いつきしばらく一緒に歩くが、いつの間にか離れてしまう。



8:00 宝剣山荘着（通過）

8:10 中岳（通過）

8:20 山頂小屋着。小休止

8:35 出発

8:50 木曾駒ヶ岳着。今しも下山しようとしていた先発隊と合流し、集合写真を撮る。先発隊の藤橋さんはもう少しでガスが晴れそうなので頂上に残り後発隊に合流。到着とほぼ同時にガスが切れ始め、快晴とはいかないまでもかなり視界が開ける。眼下には素晴らしい紅葉が。写真をとったりして少しゆっくりするが、それつかの間、再びガスが視界を隠す。



9:15 木曾駒ヶ岳出発

9:44 宝剣山荘着。小休止。ここで澤田氏は単独下山。他のメンバーは宝剣岳へ。宝剣

- 岳に登らず下山する方々と別れて乗越浄土で一人後発隊を待っていてくれた先発隊の牧野さんが頂上付近で合流（単独下山の澤田氏が伝令役を果たしてくれた）。
- 10:15 宝剣山頂着。頂上直下のガレ場は圧巻。後に久保氏は直下の鎖場を評し「人生でこんなに怖かったことは無い」と語る。頂上は狭くガレ場での渋滞を避けるため写真を撮ってすぐに下山開始。その後のコースも登山客が多く、上りの登山者に道を譲りながらゆっくりと下山。
- 11:15 遊歩道との分岐。今回は遊歩道コースを通り駅へ。この時間には宝剣岳には依然ガスがかかるも、千畳敷全体が見渡せる。素晴らしい紅葉！！



- 11:35 千畳敷駅着。三好さん一行3名はすでに下山し帰路についていることを確認。残りのメンバーはそれほど待ち時間もなくロープウェイでしらび平へ。（上りのロープウェイはこの時間で4時間待ち！）在京連絡人のサッチさんへ下山報告。その後予約バスの時間を変更してもらいただちに下山。13:00にはこまくさの湯に着。

打上げ&反省会・昼食・入浴（こまくさの湯）

- ・ 来年の山行候補は牧野さんから提案があった平湯キャンプ場&焼岳（もう1つの案のどんぐり山荘&笠ヶ岳はさすがに遠いと鈴木さんから泣きが入る）。ただし平湯キャンプ場は人気が高いため、早めの予約が必要とのこと。
- ・ その辺りに行くなら乗鞍もいいよね（かなり上まで車で行けるから）という意見もあったが、この時期メジャーな場所はどこも混雑が予想されるため、できるだけ交通機関に頼らずシンプルに歩いて登れるある意味マイナーな穴場をねらう方がよいのでは？という意見も。
- ・ 近場でやって、参加者を増やしたらどうか？との意見も。
- ・ 山に登る人も登らない人もテントに泊まる人も泊まらない人も、多様な参加者が楽しめる自由度の高い企画ができる場所があったらいいなあと秘かに思う今日この頃です。そんな企画があれば、おそらく参加者はもっと増えるのではないのでしょうか？（by 尚子）

15:30 頃 温泉を楽しんだ後、それぞれ帰路へ。お疲れ様でした！

<雑記>

- ・ 事前の予約が素晴らしくバス、ロープウェイがスムーズに。少し遅れると待ち時間だけで今回の計画はほとんど無理。15人以上の団体のメリットを最大限に活用した賜物。
- ・ 昨年同様、登山ブームか登山道は混雑（ツアー登山のパーティー、山ガール、登山犬も）

●参加メンバ

	入学年度	担当／係	氏名
1	67		三好 政美
2		三好さんお仲間	川島 操
3		三好さんお仲間	千勝 志津夫
4	73		山本 耕平
5	74		鈴木 雅彦
6	74		矢澤 正人
7	75		長谷川 和男
8	76	映像記録・編集	牧野 泰明
9	77		石川 克彦
10	77		綱島 秀
11	77		藤橋 一彦
12	80	庶務・医療	松尾 良徳
13	80	渉外・気象	中山 尚子
14	80	装備・記録	鈴木 康之
15	80	会計	久保 義明
16	80	装備・写真	澤田 宏久
17	80	食料	伊藤 幸子
18	80	ちこ旦那	伊藤 博

78	在京連絡人	Bastable 幸子(坂巻)
----	-------	-----------------

以上